



令和2年度

美浜町立和田小学校 学校だより

令和3年1月29日

NO.36

27日(水)、美浜町教育委員会と県教育庁紀南教育事務所による学校訪問がありました。町からは塩崎善彦教育長、伊藤里香指導主事、出口和幸教育委員、宮本真由美教育委員、富雅子教育委員、県からは三浦勝志指導主事にご来校いただきました。

4時間目に全学級の授業を公開し、5時間目に1年上村の研究授業を行いました。授業後の研究協議会では、公開授業・研究授業ともに落ち着いた学習態度や指導法について高い評価をいただくことができました。

今回ご指導をいただいたことを生かして、次年度へ向けての方向性を話し合っていきたいと考えます。

学校長



いただいたご意見に対して

保護者アンケートでは、様々なご意見をいただきました。お褒めの言葉もご批判もありました。それらのご意見は真摯に受け止め、今後、学校運営の改善に生かしていきます。本当にありがとうございました。

一つだけ、ご意見が分かれたものがあります。それは、4～6年生が行っている放課後の補充学習、「学習会」についてです。学習会について肯定的に受け止めてくださっている方と、学習は大切だがなくてもよいという立場の方がおられました。学習会について、遅ればせながらご説明したいと存じます。

本来、学習会は正規の授業ではありません。出席状況も、記録として残すものではありません。ですから、参加は自由です。各学級担任が、そのとき子どもたちに必要だと考える内容のプリント等を提供して学力の定着を図る会ですので、プリントだけ受け取って帰っても結構です。

年度当初の説明が十分でなく、誠に申し訳ありませんでした。今後は自由参加の原則をご理解の上、ご対応お願い申し上げます。

学校評価保護者アンケート結果報告

和田小学校アンケート（保護者）集計結果

令和3年1月15日

評価項目	1	2	3	4	5
	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう 思わない	ま ったく そう 思わ ない	わ か ら な い
1 学校は、児童の教育活動に、適切に取り組んでいる。	51%	46%	0%	0%	3%
2 学校は、子ども一人ひとりを大切に育てている。	44%	51%	3%	0%	2%
3 学校は、子どもの生命を大切にする心や、社会のルールを守る教育をしている。	36%	55%	5%	0%	4%
4 学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	30%	53%	4%	1%	12%
5 学校は、子どもの学校生活について家庭と必要な連絡をとっている。	43%	47%	8%	0%	2%
6 学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを行っている。	55%	40%	1%	0%	4%
7 学校は、子どもたちの学習に適した施設設備を整えている。	33%	49%	5%	1%	12%
8 家庭地域は、学校に対して、それぞれの役割を果たし、連携協力している。	31%	56%	0%	2%	11%
9 子どもは、楽しそうに学校へ通っている。	64%	31%	4%	1%	0%
10 子どもは、学校のことをよく話す。	49%	39%	9%	3%	0%
11 子どもは、しっかりとあいさつができる。	33%	42%	19%	3%	3%
12 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	24%	48%	20%	7%	1%
13 子どもに学校のことをよくたずねる。	49%	43%	6%	2%	0%

学校評価保護者アンケートにご協力ありがとうございました。結果をご報告いたします。今回の回収数は104、回収率は88%でした。

まず、高い評価をいただいた項目（1及び2が90%以上）は、①「学校は、児童の教育活動に、適切に取り組んでいる」、②「学校は、子ども一人ひとりを大切に育てている」、③「学校は、子どもの生命を大切にする心や、社会のルールを守る教育をしている」、⑤「学校は、子どもの学校生活について家庭と必要な連絡をとっている」、⑥「学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを行っている」、⑨「子どもは、楽しそうに学校へ通っている」、⑬「子どもに学校のことをよくたずねる」の7つです。これらにつきましては、今後もこれまで以上に努力して、信頼を損ねることのないように教職員一同気持ちを引き締めていきたいと存じます。

次に、評価の低かった項目（3及び4が20%以上）は、⑪「子どもは、しっかりとあいさつができる」、⑫「子どもは、家庭学習の習慣が身についている」の2つです。⑪につきましては、校長から見た評価は低くありません。毎朝正門前に立ちますが、よくあいさつができていますと感じます。児童の自己評価も高く（1及び2が91%）、興味深いところです。推察しますに、ご家庭でご家族の皆様にはあいさつができていないのかもしれませんが。今後の指導の糧にしたいと存じます。⑫につきましては今年度も様々な取組をして参りましたが、なかなか定着しないようです。課題の種類や与え方、意欲を持たせる仕掛け等、今後いっそう研究を深めるとともに、ご家庭のご協力もお願いしていきたいと存じます。

最後に、「分からない」という評価の多かった項目（5が10%以上）は、④「学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる」、⑦「学校は、子どもたちの学習に適した施設設備を整えている」、⑧「家庭地域は、学校に対して、それぞれの役割を果たし、連携協力している」の3つです。これらにつきましては、校長の情報提供や呼びかけが十分でなかったと反省しております。今後は本紙や学校HPを通じて適宜情報をお届けしたりご協力をお願いしたりして、より透明性の高い、保護者や地域住民の皆様に関わられた学校作りに努めて参りたいと考えます。